

自治医科大学

令和4年度アクションプラン



本アクションプランは、本学として事業計画の重点的に取り組むべき項目についてまとめたものである。
本学関係者が大学運営の方向性について認識を共有し、業務の指針とするとともに、機会に応じ対外的な発信にも活用することとする。

I 共通

1 卓越した学生、教職員の確保

- ① 戦略的広報の推進による志願者の確保
- ② 地域の状況に合わせた広報活動
- ③ 教育研究診療環境の整備と業績発信の推進
- ④ 都道府県の教育委員会、地域医療担当部局との連携強化による優秀な学生の確保

2 卒業生との連携強化による地域医療を担う人材の育成

- ① 先端医療技術研修、研究支援など生涯教育への支援
- ② eラーニングの提供や附属病院臨床研究センターによる臨床研究と論文作成の支援
- ③ 看護職のキャリア形成支援
- ④ 医学部卒業生・都道府県人会との連携強化

3 内部質保証の推進

- ① 第4期中期目標・中期計画及び内部質保証システムの教職員への浸透
- ② 全体・部門作業部会を中心とした改善意識の醸成
- ③ IRの活用など客観的評価システムの導入・確立

4 内部管理の充実・改善及び教職員の就労支援

- ① ハラスメント対策の充実強化
- ② eラーニング手法の更なる積極的展開
- ③ ガバナンス・コードの遵守

5 看護師特定行為研修センターの円滑な運営

- 効果的な研修のための研修方法、指導方略の評価

6 臨床研究の品質・信頼性の向上

- ① 附属病院臨床研究センターによる臨床研究・治験の推進
- ② 臨床研究中核病院申請のための実績の確保
- ③ 信頼性の高い臨床研究の維持と医師主導臨床試験の推進

7 先端医療技術開発センターの共同利用・共同研究拠点としての安定的・継続的な活動

8 経営改善に関する取組の強化（附属病院及び附属さいたま医療センターはIV及びV参照）

- ① 徹底した経営改善の取組による損益収支の改善
- ② 予算執行における施設・設備整備費の抑制と管理経費等の更なる削減
- ③ 業務の効率化による職員人件費の縮減
- ④ 寄附金、公的研究費等の外部資金獲得の促進と経常費補助金の増額確保

9 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）をはじめとした危機管理対応の充実

- ① 柔軟な災害時対応のための情報共有、連携強化
- ② COVID-19との共生を目指す新しい生活様式の定着と、安心・安全な学生生活の確保

10 将来のあるべき方向性の検討

- 創立50周年を機に、地域医療に関する教育・研究の拠点としての本学の更なる発展に向けた検討を推進

Ⅱ 医学部・医学研究科

1 地域医療に貢献する人材の育成

- ① 定期的な総合医教育カリキュラムの見直しと学習支援の強化等による高い進級率や共用試験・国家試験合格率の維持
- ② メディア授業の検証・活用とポストコロナにおける教育研究活動の最適化への検討
- ③ 国際基準に基づく医学教育分野別評価受審の結果に基づく継続的改良

2 地域社会のリーダーたりうる人材の養成

- ① ディプロマ・ポリシーのマイルストーンによる段階的獲得評価の推進
- ② 医学研究科における地域社会を牽引するリーダー養成に向けた取組

3 国際的成果を目指した研究・地域医療に役立つ研究の活性化

- ① 大学院の活性化と研究指導計画の明示
- ② 附属病院臨床研究センターの活動充実による臨床研究の推進
- ③ 基礎研究及びトランスレーショナルリサーチの推進
- ④ 共同研究、受託研究等産学連携の推進
- ⑤ 各種公募情報等の収集・競争的研究費獲得のためのセミナー開催等による科研費等外部資金の積極的導入
- ⑥ 画期的研究成果等地域医療に役立つ技術・知識の積極的発信

4 研究者倫理の徹底と医療倫理・生命倫理等の遵守

- ① 国の対応等を踏まえた研究不正防止対策の強化
- ② 研修の徹底等による諸規制の確実な遵守
- ③ 研究費不正防止に関する高い意識を持った組織風土形成

5 教育を支える環境の整備

- ① 関係組織の相互連携による学生への多面的な支援提供
- ② FD活動の更なる充実による教育・研究水準の向上

Ⅲ 看護学部・看護学研究科

1 高度医療・地域での看護に従事できる総合的な看護職の育成

- ① 教育内容の検証、国試対策ゼミ、学習相談等の充実による高い国家試験合格率の維持
- ② 保健師助産師看護師学校養成所指定規則改正に対応した新カリキュラムの的確な実施
- ③ シミュレーション教育との連動による演習・実習教育の更なる充実

2 地域包括ケアのリーダー及び優秀な教育研究者の育成

- 博士課程の教育強化、附属病院看護職を始めとした看護職の人材育成・研究活動支援等による高度実践看護職や看護の教育研究者の育成

3 国際的視野を持った人材の育成

- 多文化理解・情報リテラシー・倫理的側面に関する教育充実等による保健・看護の分野で国際的視野を持った人材の育成

4 教育を支える環境の整備

- ① 学生支援・学生相談の体制充実
- ② F D活動の更なる充実による教育・研究水準の向上
- ③ 授業方法における I C T等の利活用とアクティブ・ラーニングの推進

5 臨床研究等の推進

- ① 附属病院看護職等との臨床研究の推進
- ② 「日本型地域ケア実践開発研究事業」(平成 25~29 年度)で開発した I C Tを活用した教育・支援システム及びトレーニングプログラムの活用と精錬
- ③ 競争的研究費獲得を含めた研究推進体制の強化

IV 附属病院

1 病院の経営改善及び効率化

- ① 経費削減等の経営改善に向けた診療科ごとの医薬材料費等の経費・経営情報の可視化
- ② 働き方改革及び医療制度改革に対応した戦略的な制度の見直しと人員配置
- ③ R P Aツールを活用した業務の効率化、自動化
- ④ 共用床及び空き病床の効率的運用による医療供給体制及び病院経営の向上
- ⑤ D P C係数、クオリティインディケーター等の活用による診療効率化
- ⑥ 未収金の低減
- ⑦ 多様な外部資金利用の検討

2 医療の質の向上と高度先進医療の追求

- ① ポストコロナにおける高度で先進的な医療提供の実践
- ② 高度急性期医療の提供と充実
- ③ 医療安全管理体制の強化及び部門間連携の推進
- ④ 特定機能病院としての臨床研究、特定診療行為、先進医療、高難度医療等の推進
- ⑤ 地域医療に貢献する本学学生の診療参加型臨床実習の定期的なプログラム見直し

3 患者満足度の向上

- ① 入退院支援・医療福祉相談・地域医療連携等の充実
- ② 患者待ち時間の短縮、患者アメニティの向上

4 働き方改革を踏まえた働きやすい職場の構築

- ① 職場環境の見直しによる医師・看護師を含めた医療職員の職場満足度の向上
- ② 業務負担軽減を実現するための新たな勤務体制・労務管理制度の円滑な運用
- ③ 働き方改革を踏まえた特定行為看護師の育成・活用、医師事務作業補助者の充実、タスクシフティング及びタスクシェアリングの推進
- ④ 職場安全のための職員への感染症標準予防策の徹底及び検査体制強化

5 人材の安定的確保等

- ① 研修医のフルマッチの継続並びに優秀な専門医、専攻医の確保
- ② 特定行為看護師、認定看護師等の育成及び適正な配置
- ③ 自己研鑽・キャリア形成のための教育・研修体制及び資格取得支援制度の強化

V 附属さいたま医療センター

1 センターの経営改善及び効率化

- ① 経費削減等の経営改善に向けた診療科ごとの医薬材料費等の経費・経営情報の可視化
- ② センターの特色ある診療体制（臓器別病床の柔軟な運用）の構築
- ③ 適正なデータ集約と定期的な分析実施による問題点の可視化と改善
- ④ 医療連携協力施設認定制度を活用した病診連携の推進と地域連携パスの拡充
- ⑤ 地域医療支援病院制度を通じた地域の医療機能の役割分担と連携推進
- ⑥ DPC係数、クオリティインディケーター等の活用による診療効率化
- ⑦ 未収金の低減

2 医療の質の向上と高度先進医療の追求

- ① ポストコロナにおける高度で先進的な医療提供の実践
- ② 高度急性期医療の提供と総合診療体制の充実
- ③ 医療安全に向けたカルテ、サマリーの適切な管理とインシデント分析による不安全行動につながるリスク削減
- ④ 特定行為の安全な実施と専門職としての知識・技術の向上
- ⑤ 共同研究・受託研究等の推進
- ⑥ 地域医療に貢献する本学学生の診療参加型臨床実習の定期的なプログラム見直し

3 患者満足度の向上

- 患者サポートセンターの充実

4 働き方改革を踏まえた働きやすい職場の構築

- ① 医師の働き方改革の推進
- ② 職場環境の見直しによる医療従事者の職場満足度の向上
- ③ 特定行為看護師及び診療看護師の活用、医師事務作業補助者の充実、タスクシフティング及びタスクシェアリングの推進
- ④ 業務従事者に対する能力向上教育の実施

5 人材の安定的確保等

- ① 優秀な研修医、専門医、専攻医の確保
- ② 特定行為看護師、認定看護師等の育成及び適正な配置
- ③ 自己研鑽・キャリア形成のための教育・研修体制の強化